

CSR（企業の社会的責任）への取り組み

- ・ 事業を通じてよりよい社会をつくること  
ソーシャルニーズを創造し、優れた技術、製品、サービスを提供し続けていく。
- ・ 社会が抱える課題に当事者として自ら取り組むこと  
人権・労働問題や環境問題など、さまざまな社会課題に対し、オムロンの特色を活かした取り組みを行う。
- ・ 企業活動を進めるうえで、常に公明正大であること  
法令や社会ルールの厳守はもとより、説明責任を果たし、より透明で公明公正な経営を実践していく。



作業中はみんな一心不乱に取り組んでいます。

モデルフォレスト活動

全国各地で森林保全活動を継続実施  
オムロンが取り組む森林保全活動は、社員の参画による社会貢献活動です。今日的課題である、地球温暖化防止への貢献、生物多様性の確保への貢献、そして、国連グローバルコンパクト（GC）支持の企業として、より大きな環境上の責任を負うことを狙いとして、社員一人一人が参加します。2008年度からは、国内を大きく9拠点に分割し、それぞれの事業所が活動地や協働のパートナーづくりおよび運営・企画を担っています。



最後はみんなで集合写真

モデルフォレスト活動への想い

京都事業所では京都市右京区北嵯峨の「長刀坂国有林」での森林利用保全活動を開始し、現在に至ります。この森林は広沢池の近くにある後宇多天皇陵の背景林で、風致保安林や古都保存法の歴史的風土特別保存地区に指定された国有林で、社名の由来となった「御室」を流れる鳴滝川の上流にあたり、社員にとっても親しみがある森林です。

この「長刀坂国有林」、かつては尾根筋を中心にアカマツ林が広がって大変風光明媚な森林でしたが、最近マツクイムシの被害等によりアカマツ林が減少し、広葉樹林化が進展しました。そこで我々は年に2回、広葉樹の除伐や地表の落ち葉の除去等を行い、アカマツ林の再生や野鳥の森づくりに取り組むことにしました。

「長刀坂国有林」のアカマツ林を再生するにはまだまだ長い年月がかかり、地道に活動を継続していく必要があります。しかしこの活動はボランティアに参加しているという充実感のもとより、自然に触れることで逆に癒され、人間らしさとしてのパワーを貰ったような気さえます。自然について学び、自然に触れて癒され、活動を通じて社会貢献への意識や地元京都の自然に対する愛着につながるこの活動を、参加する人が楽しみながら、家族や友人などへ広げていく、そんな取り組みになるように今後も推進していきます。

活動データ

■企業・団体名

オムロン株式会社 京都事業所

■所在地 〒600-8530

京都市下京区塩小路通堀川東入  
075-344-7000

■協定 締結年月日 2009年4月21日

オムロン株式会社  
オムロン労働組合京都支部  
社団法人京都モデルフォレスト協会  
京都府

■活動フィールド

長刀坂国有林 14.61ha



京都事業所  
熊谷 直孝